

校内研修の実態をつかみ、問題点を明らかにするため、見とおしの中にあげた、次の点から質問紙選択法と自由記述により調査をした。

- 研究主題の理解度をみることにより、共通理解と研究に対する意欲を探る。
- 研究組織や運営についての調査をすることにより、よりよい研修活動ができるよう改善の資料にする。
- ブロック研究、共同研修の進めかたを調べ、今後の研修の進めかたに生かす。

— 第一次調査 —

(1) 研究主題の理解度を見るための調査

- ① あなたは、あなたが所属しているブロックの研究主題について理解していますか。

	%	
よく理解している	80%	21人
半分程度は理解している	20%	19人
まだよく理解していない	0%	0

<考察> 研究主題については、ほぼ理解されている。「半分程度は理解している。」を含めると、全員が理解しているととらえることができる。しかし、ブロックごとにとみると、中学年では半分程度の理解が66%と多い。これは、だれかがやるであろうとの考えが強いため、人まかせの傾向があるからではないだろうか。

本校の研究は、このブロック研究を主体として、共同研究に発展させようとするものであり、いわば中核的存在である。中学年では今後研究主題についての共通理解を図るような方策を考えていかなければならない。このことは、高学年ブロックにもあてはめることができる。

- ② あなたは、全校の研究主題について理解していますか。

	%	
よく理解している	33%	13人
半分程度は理解している	56%	19人
まだよく理解していない	11%	8人

<考察> この調査でも、①と同じような結果がみられた。ブロックごとの研究主題の理解度より低くなっているのは、各自に直接関係がないと考えているせいであろう。まだよく理解していないと回答した者のうち、中学年が5名、全体では8名(20%)という結果は、①で述べたこともあてはまるのではないか。今後研修を続けていくために、共通理解を得るための、計画的な研修を行ない、意欲づけを図る必要がある。

(2) 研修組織の適否を見るための調査

- ① あなたは、研修組織についてどう考えていますか。

	%	
現在のままでよい	80%	32人
研究部を改善して欲しい	10%	1人
研究係を改善して欲しい	10%	3人
主任について考えて欲しい	0%	0
その他	10%	4人

<考察> ここでは、「現在のままでよい。」とする者が、80%(32名)と、ほとんどが現在の組織で研修を進めていくことを望んでいる。しかし「その他」のところで10%(4名)の者が、条件付で各係をもう少し細かにわけ、一人一役主義になることを望んでいるが、主任に人がいなければ現在のままでよいとしている。

この組織は、昨年度の反省をもとにして、改善された組織であるので、このような結果になったのであろう。この調査から、反省をもとに改善することの大切さがわかる。

(3) 研究活動や運営についての調査

- ① あなたは、研究活動についてどのように考えていますか。

	%	
グループ研究がよい	80%	34人
全体研究がよい	10%	5人
個人研究がよい	0%	0
その他	10%	1人

<考察> この調査では、ほとんどの者が現在行なっているブロック研究の利点をあげ、賛成している。

その理由として、だれもが気軽に発言でき、納得がいくまで話し合うことができるためとっている。全体研究がよいと回答した低学年については、ブロック研究で明らかにすべき問題をブロック全体の共通の問題としてとらえるための方法について配慮していかなければならない。

- ② あなたは、全体研修の中の研究活動についてどのように考えていますか。

	%	
現状でよい	56%	22人
研究部会が多すぎる	28%	11人
研究部会が少ない	16%	7人